

各位

東京都千代田区外神田一丁目18番13号
株式会社エスプール
代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
(コード番号: 2471)

問い合わせ先:
取締役管理本部担当 佐藤 英朗
電話番号 03 (6859) 5599 (代表)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年1月11日に公表しました2018年11月期(2017年12月1日～2018年11月30日)の連結業績予想を、以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年11月期連結業績予想値の修正(2017年12月1日～2018年11月30日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,587	814	802	468	29円70銭
今回修正予想(B)	14,797	983	1,007	619	39円27銭
増減額(B-A)	1,210	169	205	151	—
増減率(%)	8.9	20.8	25.6	32.2	—
(ご参考)前期実績 (2017年11月期)	11,696	674	687	423	27円32銭

(注)当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、人材ソリューション事業において、企業の人材不足感が強まる中、未経験者の活用に長けたグループ型派遣の推進や定着率向上のための様々な施策によって、人材派遣サービスがコールセンター業務を中心に順調に拡大しました。また、ビジネスソリューション事業については、障がい者雇用支援サービスの新規受注が計画を大きく上回っており、納品を前倒しで進めることができました。

損益面につきましては、前述の人材派遣サービス及び障がい者雇用支援サービスの売上増にともなう利益増により、営業利益、経常利益が期初計画を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益においては、これらの要因に加えて、子会社が運営する店舗の立退きに伴う受取補償金を特別利益に計上したことから、前回予想を上回る見込みとなりました。

以上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。